


【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-1 事業名 道路事業（清水沢多賀城線）
事業費 総額 9,785,310 千円 （内訳：本工事費 6,805,583 千円、調査設計費 287,730 千円、 用地費 942,450 千円、補償費 1,749,547 千円）
事業期間 平成 24 年度～令和 2 年度
事業目的・事業地区 多賀城市では東日本大震災の津波被害を踏まえ、多重防御や避難対策による安全・安心の確保を図りながら現地再建を基本とする震災復興計画を策定した。 復興計画に基づき復興まちづくりを進めるにあたり、防御施設の整備後においても L2 津波による浸水が想定され、かつ、多数の徒歩避難者の発生が見込まれる地域から高台方向（砂押川左岸）への避難路確保を目指して、都市計画道路清水沢多賀城線の整備を行う。 <p style="text-align: center;">位置図</p> 
事業結果 路線名：清水沢多賀城線（延長 977m） ＜平成 24 年度～令和 2 年度＞ ・ 調査設計 287,730 千円 ＜平成 27 年度～令和 2 年度＞ ・ 本工事 6,805,583 千円 ＜平成 26 年度～平成 30 年度＞ ・ 用地買収 942,450 千円 ＜平成 26 年度～令和 2 年度＞ ・ 物件移転補償 1,749,547 千円
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・ 高台方向への避難路を確保したことにより、今後、今次津波と同等クラスの津波が発生した場合でも円滑に避難することができるので、事業が適正に執行されていると判断される。

②コストに関する調査・分析・評価

・事業費の設計・積算は、基準書等により実施し、多賀城市契約規則等に基づき契約を行い、業者を選定している。

・また、コストについては比較できる直近の同種他事業が無いため分析は困難であるが、工事費については、経済性や施工性などを総合的に判断し、橋梁形式を決定した。

③事業手法に関する調査・分析・評価

・本事業は、以下のとおり、事業を進めることができた。

<想定した事業期間>

調査設計	入札手続き・発注・完了	平成24年3月～平成28年3月
用地	完了	平成25年10月～平成30年3月
補償	完了	平成25年10月～令和2年3月
工事	入札手続き・発注・完了	平成26年10月～令和2年3月

<実際に事業に要した事業期間>

調査設計	入札手続き・発注・完了	平成24年4月～令和3年3月
用地	完了	平成26年4月～平成31年3月
補償	完了	平成26年4月～令和2年3月
工事	入札手続き・発注・完了	平成27年8月～令和3年3月

・補償や用地買収で地権者交渉に時間を要した結果、事業完了が遅れてしまった。

事業担当部局

建設部復興建設課 電話番号：022-368-1141